

WTからR5施策の報告

令和5年7月18日

JR山陰本線WT R5年度の主な取組

JR山陰本線（城崎温泉駅～竹野駅間）利用促進策創出ワークショップ【新】

【概要】

事業内容 JRローカル線維持・利用促進検討協議会で取りまとめた利用促進策の方向性を踏まえ、地域特性やニーズをさらに深掘りし、実効性のある持続可能な利用促進策を地域と協働して検討、実行することを目的としたワークショップを開催。実現可能となった施策から適宜実施

実施主体 豊岡市（R5予算：5,500千円）

実施期間 2023年5月～10月（月1回程開催）

※参加者数 第1回：5月13日（土）39名、第2回：6月17日（土）30名、第3回：7月8日（土）26名

参加者 地元関係団体、地域住民、芸術文化観光専門職大学学生、兵庫県立大学大学院学生、市職員など



【出典：豊岡市】



【出典：豊岡市】



【出典：2023.5.17産経新聞】

JR山陰本線WT R5年度の主な取組

鉄道利用促進助成事業

【概要】

事業内容 香美町在住者を対象に、町内の5つの駅（佐津、柴山、香住、鎧、餘部）を発着として2名以上で往復利用をする場合の利用料金（運賃及び特急料金）の半額を助成
※JR営業距離に応じた助成上限額あり

実施主体 香美町（R5予算：約2,000千円）

実施期間 令和5年度

【取組状況・今後のスケジュール】

令和4年度：申請約180件、延べ約450人利用

令和5年度：申請約50件（6月末時点）、延べ約120人利用



鉄道往復利用支援事業

【概要】

事業内容 町民が浜坂駅を発着駅として、豊岡（城崎温泉）駅又は鳥取駅を往復利用する場合に、片道分の乗車券及び鉄道ノベルティを配布

実施主体 新温泉町（R5予算：253千円）

実施期間 令和5年7月～9月頃

【取組状況・今後のスケジュール】

令和4年度：380人（第1～3弾で計11日間実施）

令和5年度：7月～9月頃に複数回実施予定



【昨年度事業実施の様子】



【鉄道ノベルティ】

JR山陰本線WT R5年度の主な取組

定額観光タクシーを活用した公共交通利用促進事業【新】

【概要】

事業内容 兵庫DCに合わせ、養父市への来訪者に対し、市内公共交通を利用した観光ツアーと市内映画ロケ地をイメージしたロケ弁提供により、鉄道およびJR八鹿駅からの2次交通利用促進を図る。

対象者 JR八鹿駅下車の特急電車又は高速バス利用者

実施主体 養父市土地利用未来課（R5予算：約2,500千円）

実施期間 8～10月

【取組状況・今後のスケジュール】

1,000人の利用見込み（20人/日×50日間を想定）



【時間制定額観光タクシー：養父市観光協会HP】

持続可能な公共交通体系の構築【新】

【概要】

事業内容 交通連合の設立を見据えた準備会の発足

実施主体 但馬3市2町（豊岡市、養父市、朝来市、香美町、新温泉町）および交通事業者

実施期間 令和5年度中

【取組状況・今後のスケジュール】

但馬地域で交通連合を沿線自治体と事業者等で組織し、利用促進策に留まらず、事業運営のあり方について同列の立場で自治体の関与できる仕組みづくりの検討を通じ、持続可能な公共交通のあり方を模索していく予定
令和5年度中の準備会発足に向けて協議・検討を実施（事務局：県民局（想定））

JR山陰本線WT R5年度の主な取組

中期的施策の実施に向けた対応【新】

【概要】

人口減少下の中、高齢者の免許返納の流れや兵庫DC、大阪・関西万博による利用増を見据え、山陰本線は国家的社会的共通資本との認識に立ち、沿線市町、交通事業者と一体となって、サービスレベルの向上による輸送密度2,000人/日への引き上げを目指した議論を加速する。

重点実施施策の検討実施

- 1 交通連合の設立に向けた準備会発足(再掲)
- 2 キャッシュレス決済に向けた実証実験の実施(豊岡市内)
- 3 JRとバスの補完施策(JRの増便につながるバスの運行、切符の供用等)

中長期的施策のロードマップ作成

【取組状況・今後のスケジュール】

担当者会議で素案検討中。秋頃を目処に、利活用協議会で交通事業の運営のあり方を含め議論

JR山陰本線WT R5年度の取組(その他)

項目	概要	予算	実施主体
募集型企画旅行の実施	地元住民を対象に特急列車を利用した募集型企画旅行を月1回程度実施	—	竹野駅を愛する会
竹野駅乗車券類等簡易委託販売業務	竹野駅での乗車券類の販売、日常清掃業務、利用者の利便性向上に資する業務	2,280千円	豊岡市（一社） たけの観光協会に 業務委託
市職員公共交通利用	市職員の市内移動、域内出張等にあたり公共交通機関を利用	300千円	豊岡市
e通勤プロジェクト	公共交通機関を利用した通勤の推奨	—	豊岡市
町民ふれあいの旅事業	特急はまかぜを利用した町民ふれあいの旅の実施 (行先：愛知県（岡崎市、蒲郡市等）)	307千円	新温泉町
特急はまかぜ利用助成金交付事業【新】	町民が特急はまかぜを利用した際の乗車券等の運賃を助成	1,050千円	新温泉町
職員e-出張事業【拡】	神戸等への職員1名での出張は特急はまかぜの利用	881千円	新温泉町
JR浜坂駅の充実【新】	鉄道関連の備品等の購入を予定	115千円	新温泉町
JR八鹿駅待合室改修【新】	地元事業者の弁当販売などを見据えた駅待合室の改修	未定	養父市

JR山陰本線WT R5年度の取組(その他)

項目	概要	予算	実施主体
公共交通通勤利用助成金(補助金・奨励金) 【拡】	通勤時に鉄道や路線バスを定期利用している者又は企業等に支給	729千円	朝来市
利用促進	市民・行政・交通事業者の3者が一体となった利用促進(市職員による利用促進の取組等)	—	朝来市
ジオトレイルと連携したJRハイキング 【新】	地元ガイドと共に訪ね歩く、駅周辺の探検ウォーキングを実施	250千円	但馬地域鉄道利便性向上対策協議会
車両基地探検隊	地域住民(子ども)を対象に豊岡駅構内車両基地の見学会を実施	500千円	但馬地域鉄道利便性向上対策協議会
レンタサイクル利用補助事業【拡】	兵庫県但馬・鳥取県東部地域の交通・観光連携協議会等と連携して京阪神からの鉄道利用者の2次アクセスを充実	450千円	但馬地域鉄道利便性向上対策協議会
夢但馬周遊バス「たじまわる」の運行【拡】	JR各駅等と観光地を結ぶ夢但馬周遊バス“たじまわる”の継続運行を軸に、主要観光地の二次交通を確保	15,278千円	但馬観光協議会
JRローカル線駅周辺活性化モデル事業補助金 【新】	「JRローカル線駅周辺活性化モデル事業」において、駅周辺の賑わい等を生み出す新たな取組みを行う事業者等を対象に、事業費の一部を補助(補助率1/2、上限200千円)	200千円×2	兵庫県 豊岡市 香美町 新温泉町

JR山陰本線WT R5年度の取組(その他)

項目	概要	予算	実施主体
鉄道利用促進但馬キャンペーンの展開【新】	位置情報を活用したスマホアプリゲームを誘致し、山陰本線と播但線の利用促進キャンペーンとして、駅と主要観光地のデジタルスタンプラリーと期間中に但馬をイメージしたキャラクター等のラッピング列車の運行を実施	3,000千円	但馬地域鉄道利便性向上対策協議会
JR西日本アプリ「WESTER」を活用した沿線情報の集約・発信【新】	沿線でのイベント情報等を、JR西日本アプリ「WESTER」のおでかけ情報に掲載し、誘客を促進	—	JR・自治体

JR加古川線WT R5年度の主な取組

1 通学定期券購入補助事業【新】

【概要】

事業内容 学生の通学定期券購入費用の一部補助

特徴 市内在住の学生で、西脇市～谷川駅間に係る通学定期券の額の2分の1を補助する。

実施主体 西脇市、丹波市（R5予算：1,500千円）

実施期間 4月～

【取組状況・今後のスケジュール】

4月から実施中



通学風景「西脇市駅」

2 JR加古川線に乗ろう！キャンペーン【新】

【概要】

事業内容 JR加古川線を利用した駅周辺地域でのイベント等キャンペーンの実施

特徴 電車利用後に地域の名所を巡るハイキングや、駅に隣接する交流拠点施設「あつまっ亭」での餅つき大会等イベントやレンタサイクル事業の実施等、一連の取組みを実施する。

実施主体 黒田庄まちづくり協議会、西脇市（R5予算：1,000千円）

実施期間 7月～11月

【取組状況・今後のスケジュール】

7月10日からレンタサイクル事業を開始



「あつまっ亭」イベントの様子

JR加古川線WT R5年度の主な取組

3 加古川線フォトコンテスト ～さあ、加古川線（カコセン）を愛そう～【新】

【概要】

- 事業内容** ①鉄道写真家による**講演会の実施**及び②**フォトコンテストの開催等**
- 特徴** ①**鉄道写真家による「鉄道写真の撮り方」をテーマにした講演会**を実施
②**JR加古川線フォトコンテスト**を実施し、**審査・表彰**を行うとともに、**入賞作品等をテレビ番組制作会社等に投稿し、メディアを活用したPRに取り組む。**

実施主体 西脇市・丹波市連携（R5予算：608千円）

【取組状況・今後のスケジュール】

- ① 8月6日に開催予定 ② 8月募集開始（～12月まで）



さあ、
加古川線を
愛そう

JR加古川線フォトコンテスト
(西脇市～丹波市)

応募資格	募集期間
どなたでも応募可能。一人5点まで、詳しくはホームページの応募要項をご覧ください。	令和5年 8月1日(火)～12月28日(休)
テーマ	入賞
JR加古川線(西脇市駅～谷川駅間の魅力)を伝える写真作品	特別賞2点 優秀賞2点 佳作3点 (西脇市・丹波市の特産品を撮影)
応募方法	1. 主催者のInstagram公式アカウント (@kakosen_love) をフォロー 2. #加古川線を愛そうフォトコンテストをつけて、キャンペーンに写真のタイトルと撮影場所を入力し投稿(1投稿につき1枚の写真)

主催 JR加古川線特・利用促進検討協議会
事務局 西脇市まちづくり課 丹波市丹波市まちづくり課(丹波市内)
☎ 0795-22-3111(内線3033) ✉ machi@city.nishiwaki.lg.jp

4 ARスタンプラリー【新】

【概要】

- 事業内容** **ARを活用したデジタルスタンプラリーを実施**
- 特徴** 鉄道を利用した周辺観光地等の周遊促進を図るため、**兵庫DC期間に合わせ、駅及び周辺観光施設等をスタンプスポット**として、沿線観光施設、JR加古川線、神戸電鉄粟生線、北条鉄道等の協力のもと実施し、**兵庫DCとの連携による相乗効果を図る。**

実施主体 (主催) 北播磨広域観光協議会
(共催) JR加古川線・神戸電鉄粟生線・北条鉄道利用促進協議会 (R5予算：3,200千円)※

実施期間 8月～9月 **スタンプスポット** 計15箇所

【取組状況・今後のスケジュール】

6月下旬に企画提案コンペを実施し、事業者決定。8月開催に向け準備中



JR加古川線WT R5年度の主な取組

5 わが町考え隊（仮称）の発足【新】

【概要】

事業内容 鉄道を中心とした地域おこしのための組織の創出

特徴 **地域住民、社会活動家等が中心**になり、西脇市～谷川駅間の**鉄道を中心とした地域活性化策の検討を行う組織を発足**させる。

実施主体 社会活動家等、北播磨県民局（R5予算：300千円）

【取組状況・今後のスケジュール】

8月発足に向け関係機関等と調整中



西脇市駅～谷川駅を走る電車と田園風景

6 JR加古川線リレーマルシェ【新】

【概要】

事業内容 平日の夕方から、**久下村駅前でキッチンカーなどの出店による「夜市」**を実施し、電車での来訪を促す。

将来的には**「加古川線リレーマルシェ」**として**各駅でのマルシェ開催**を目指す。

特徴 企画は、丹波県民局の部局横断若手チーム（**県民局ユースチーム**）において検討

実施主体 久下自治振興会・丹波県民局（調整中）

【取組状況・今後のスケジュール】

8月22日に開催予定



実施イメージ(R4タンバッカスの様子)

JR加古川線WT R5年度の主な取組

7 通学自転車を乗せるサイクルトレイン実証実験【新】

【概要】

事業内容 鉄道の日常利用促進のため、**自転車をそのまま列車に乗せるサイクルトレインの実証実験**を行う。

特徴 **地元高校生を対象として、登下校の時間帯に実証実験**を行い、安全性の問題点等を検証する（モニター2名）

実施主体 JR西日本、西脇市、兵庫県

実施期間 9月～10月

【取組状況・今後のスケジュール】

8月にプレ実証実験を行い、ブラッシュアップした内容で実施予定



出展：埼玉県HP(ちちてつサイクルトレイン)

8 播州織トレインが行く！利用促進キャンペーン【新】

【概要】

事業内容 西脇市の地場産品・**播州織で電車内を装飾した「播州織トレイン」**により**JR加古川線をPRし、鉄道利用を呼びかけるキャンペーン**を実施

特徴 県立西脇高等学校生活情報科等の協力により、**高校生が制作した播州織織物を中吊りに掲出して車内を装飾し、通勤や出張等にJR加古川線を利用するよう住民や企業に呼びかける。**

実施主体 西脇市・北播磨県民局共催（協力：西脇高等学校、繊維工業技術支援C）
（R5予算：450千円）

【取組状況・今後のスケジュール】

9月実施に向け詳細調整中（期間：2週間）



西脇市地場産品「播州織」

JR加古川線WT R5年度の取組(その他)

項目	概要	予算	実施主体
コミュニティバスのルート延伸【新】	西脇市駅から県立西脇高校までのルートを延伸し、高校生等の利用を促進 (4月～)	—	ウイング神姫
駅・周辺の活性化に向けた地域の活動家との連携【新】	谷川駅前でのサン・マルシェの開催、神戸新聞「かなしきデブ猫ちゃん」着ぐるみ列車乗車企画実施等 (5月)	—	サン・マルシェ実行委員会、JR、丹波市、神戸新聞社等
JRローカル線駅周辺活性化モデル事業(県・市町協調事業)【新】	「JRローカル線駅周辺活性化モデル事業」において、駅周辺の賑わい等を生み出す新たな取組みを行う事業者等を対象に、事業費の一部を補助(補助率1/2、上限200千円) (6月)	200千円×2	兵庫県、西脇市、丹波市
沿線企業基礎調査【新】	市内の企業に対し、JR加古川線沿線に住んでいる従業員数調査を実施 (7月)	—	丹波県民局、丹波市商工会
駅舎内お絵かきコーナー【新】	駅に園児等が自由に楽しめるお絵かきコーナー等設置し、人々が集まる賑わいの空間を創出 (秋頃)	150千円	北播磨県民局
JR利用促進観光資源周遊事業【新】	JRの列車時刻の発着に合わせ、西脇市ー谷川間の駅を発着点とするハイキング等を実施 (9月頃)	300千円	西脇市
利用促進に係る戦略的PR業務【新】	利用促進を図るため、魅力を広く発信し、利用促進施策の効果的な広報等を行う。 (準備中)	7,000千円	兵庫県
会員企業等へ鉄道利用の呼びかけ【新】	HP等を活用し、会員企業等へ通勤、出張時等での鉄道利用を呼びかけ利用を促進する。 (調整中)	—	西脇商工会議所、丹波市商工会
加古川線利用増進事業【新】	団体での加古川線利用に対する鉄道賃の補助 (検討中)	未定	丹波市

JR加古川線WT R5年度の取組(その他)

項目	概要	予算	実施主体
JR西日本アプリ「WESTER」を活用した沿線情報の集約・発信【新】	沿線でのイベント情報等を、JR西日本アプリ「WESTER」のおでかけ情報に掲載し、誘客を促進 (随時)	—	JR・自治体
沿線行事のPR	沿線行事のポスター・パンフレット等を駅に掲出 (随時)	—	JR・自治体
<参考：全県的取組>			
鉄道の利便性向上に向けた取組【新】	学生等の日常利用や観光での利用が見込まれるサイクルトレインや、対象路線で未整備となっているキャッシュレス決済の導入に向けた調査・検討を実施 (準備中)	5,000千円	兵庫県
<参考：加古川線・神戸電鉄粟生線・北条鉄道利用促進協議会事業（西脇市一谷川間関係）>			
列車内鉄道絵画展	加古川線等沿線地域の園児・児童を対象に列車や駅をテーマにした絵画を募集し列車内絵画展を開催 (6～12月)	協議会予算の範囲内	交通事業者、商工会議所、商工会、市町、県ほか
鉄道利用促進事業	西脇市一谷川間の駅を発着点とするハイキング等沿線地域の魅力を体験できるイベントを実施 (9～10月)	協議会予算の範囲内	交通事業者、商工会議所、商工会、市町、県ほか
鉄道沿線ガイドの作成	鉄道沿線で開催されるイベント等の魅力情報を掲載したガイドの発行 (季刊)	協議会予算の範囲内	交通事業者、商工会議所、商工会、市町、県ほか

JR姫新線WT R5年度の主な取組

1 たつの市姫新線駅周辺駐車場等使用料助成事業

【概要】

事業内容 駐車場、駐輪場の月極使用料の**全部**または**一部助成**

実施主体 たつの市（R5予算：2,477千円）

助成上限額 駐車場：4,000円（たつの市在住者）
（月額） 2,000円（上記以外の者）

駐輪場：1,000円

【取組状況・今後のスケジュール】

R5.4より申請受付中

[助成対象者]

- ・たつの市、宍粟市、佐用町、上郡町に在住、もしくはたつの市に在勤、在学する者
- ・通勤、通学等のため、たつの市内の姫新線の駅を起点または終点として定期乗車券を購入した者
- ・1年以上、継続して姫新線を利用することが認められる者（学生を除く）

2 佐用町姫新線等鉄道利用促進事業【拡】

① 佐用町大学生等通学定期券購入助成事業

【概要】

事業内容 佐用町内在住の大学生等の**通学定期券購入費用を助成**

実施主体 佐用町（R5予算：8,000千円）

助成額 通学定期券 1 か月分に対して5,000円以下は**全額を助成**、5,000円超過分は2分の1の金額を助成（月額上限 8,000円）

【取組状況・今後のスケジュール】

R5.4より制度改正（**対象拡大：22歳→25歳まで**）し、実施中

② 鉄道利用促進のための乗車券支給事業

【概要】

事業内容 佐用町内の駅から鉄道を利用する者に、**片道分*の乗車券を支給** *津山～姫路間

実施主体 佐用町（R5予算：600千円）

助成対象者 佐用町内在住、在勤、在学の**2人以上**のグループ

【取組状況・今後のスケジュール】

R5.4より制度改正（区間拡大、人数要件緩和）し、実施中

JR姫新線WT R5年度の主な取組

3 姫新線沿線ドローンレース大会（仮称）【新】

【概要】

- 事業内容** 姫新線沿線の活性化を図るため、**ドローンレース大会**を実施
- 開催日等** 10月下旬、佐用町内体育館(駅から徒歩5分程度)で調整中
- 特徴** 参加者は**姫新線を利用して来場**することを条件とする
- 実施主体** 西播磨県民局

[大会内容(案)]

- ・開会式、デモンストレーション
- ・トイドローンレース(初心者向け)
- ・ドローンレース(ドローンレーサー)
- ・表彰式

【取組状況・今後のスケジュール】

- 7月中 詳細決定
- 8月下旬以降 記者発表、参加者募集

4 映像コンテスト及び動画コンテンツ等の発信力強化【新】

【概要】

- 事業内容** 姫新線沿線の風景等を題材にした「**映像コンテスト**」を開催する。また、**姫新線利用促進・活性化同盟会HPをリニューアル**し、コンテスト入賞作品を掲載するなど、**発信力を強化**する。
- 実施主体** 西播磨県民局：映像コンテスト
姫新線利用促進・活性化同盟会：HPリニューアル

[HPリニューアル内容(主なもの)]

- ・スマホ画面対応
- ・インスタ、Facebook等のSNS連動により動画コンテンツの掲載が可能に



※現行のトップページ

【取組状況・今後のスケジュール】

秋以降の実施に向けて調整中

JR姫新線WT R5年度の主な取組

5 駅カードの作成【新】

【概要】

- 事業内容** 広域デジタルスタンプラリーの開催にあわせて、沿線の魅力を伝える**JR姫新線（播磨新宮～上月駅間）の駅カードを配布**
- 特徴** スタンプラリーの開催期間にあわせて配布することで、連携による相乗効果を図る
- 実施主体** 姫新線利用促進・活性化同盟会（西播磨県民局）
- 実施期間** 8月～9月

【取組状況・今後のスケジュール】

6月上旬に発注、7月下旬に納品予定

[駅カード イメージ]



※画像はR4に実施した赤穂線のものです
(今回のものとは異なります)。

6 沿線施設等への県産木材製サイクルスタンドの導入支援【新】

【概要】

- 事業内容** 鉄道と自転車の一体的な利用を促進するため、サイクルスタンドを購入し、**沿線施設等に県産木材製サイクルスタンドを設置**
- 実施主体** 西播磨県民局（R5予算：約1,000千円）
- 設置場所** 姫新線の駅周辺及び観光施設（20基程度）等

【取組状況・今後のスケジュール】

- 7月 購入基数決定、発注
9月下旬 納品、設置 予定

[サイクルスタンド イメージ]



JR姫新線WT R5年度の取組(その他)

項目	概要	予算	実施主体
姫新線を利用した遠足等のお菓子助成事業【新】	姫新線を利用して遠足等を実施する市内の保育園こども園に幼児のお菓子(1人につき200円程度)を支給	—	姫新線利用促進・活性化同盟会
ひまわり祭りでの利用啓発展示とミニSLの運行	ひまわり祭り(7月15日～7月30日)にて以下の取り組みを実施 ①姫新線利用啓発展示 ②ミニSLの運行(7/23)	—	姫新線利用促進・活性化同盟会
姫新線WTでの利用促進策に取り組む地元高校生等への支援【新】	龍野北高校(総合デザイン科)生徒が制作する「姫新線乗車率向上PRポスター」の費用の一部を支援	200千円	西播磨県民局
沿線の高校生による利用促進活動【新】	生徒による利用促進活動を佐用高校に働きかけ、その活動を支援 (例:家政科生徒による利用促進PRグッズの作製・配布等)	—	佐用町
「姫新線ファンクラブ」によるマイルール意識の醸成【新】	姫新線に愛着をもってもらうため「姫新線ファンクラブ」を結成し、マイルール意識を醸成	—	姫新線利用促進・活性化同盟会
利用啓発垂れ幕作成	播磨新宮駅、本竜野駅にて日常利用している方に向けて乗車人数と感謝を伝える横断幕を作成	—	姫新線利用促進・活性化同盟会
会員事業所への利用依頼及びHPによる広報活動	会員事業所に鉄道利用を促すチラシを配布するとともに、HPに掲載することで事業所(通勤者)の鉄道利用を促進	—	たつの市商工会

JR姫新線WT R5年度の取組(その他)

項目	概要	予算	実施主体
会員事業所への利用依頼及びHPによる広報活動【新】	商工会HP、Facebook、会員へのDM発送等による姫新線利用の呼びかけを実施	—	佐用町商工会
駅施設管理事業	たつの市内の以下の2駅について、周辺施設の整備を実施 ○西栗栖駅 駐車場整備(舗装)A=350㎡ ○播磨新宮駅 駐輪場整備(屋根設置)A=165㎡	34,200千円	たつの市
イベント列車の運行【拡】	姫新線と沿線地域の地域資源を結ぶユニークな沿線イベントを実施 ○年間2～3本程度	637千円	西播磨県民局
JRローカル線 維持・利用促進事業(県・町協調事業)【新】	兵庫県の実施する「JRローカル線 維持・利用促進事業」に協調し、町の役割分担分を負担 ○需用費600千円	600千円	佐用町
屏風岩・鶴嘴山里公園ハイキング	JR姫新線東觜崎駅を出発し、因幡街道の宿場町の歴史に触れながら、寝釈迦の渡し・磨崖仏等のスポットを巡る冬の里山ハイキング	—	姫新線利用促進・活性化同盟会
觜崎・千本街道イベント【新】	東觜崎駅を出発し、姫新線に乗車して千本駅のあたりを巡るウォーキングイベント	—	姫新線利用促進・活性化同盟会

JR姫新線WT R5年度の取組(その他)

項目	概要	予算	実施主体
佐用町内を巡るツアー	沿線の観光施設を巡るツアーを実施 ①南光ひまわり祭りに合わせて沿線観光施設巡り ②栗ひろいや周辺の観光施設など秋満喫ツアー	—	姫新線利用促進・活性化同盟会
姫新線を活用した観光振興「SAKU美SAKU楽で行く姫新線沿線の旅」	通常岡山駅～津山駅間を運行する観光列車「SAKU美SAKU楽」を、限定的に姫新線を走らせる形で沿線自治体を巡るツアーを企画(日本旅行が造成・販売)	9,716千円	岡山県
JR西アプリ「WESTER」を活用した沿線情報の集約・発信【新】	沿線のスポット・イベントに関する各自治体からの情報を、JR西アプリ「WESTER」に集約して積極的に情報発信を実施	—	各自治体及びJR西日本
西播磨ビジコン・ビジマッチ【新】	地域課題をビジネスで解決すること等をめざす「ビジネスプランコンテスト」に、「姫新線の利用促進」をテーマとした特別賞を設置予定	4,950千円	西播磨県民局(西播磨ビジコン・ビジマッチ実行委員会)
JRローカル線駅周辺活性化モデル事業(県・市町協調事業)【新】	兵庫県の実施する「JRローカル線 駅周辺活性化モデル事業」に協調し、駅周辺活性化の取り組みを行う事業者、地域団体等に対し、事業費の一部を補助 ○定額補助:10～20万円/件(県:市町=1:1で負担)	200千円 200千円	たつの市 佐用町
姫新線応援企業【新】	姫新線の利用促進策に取り組む社会活動家を支援する企業「西播磨姫新線応援企業」制度を創設	—	姫新線利用促進・活性化同盟会

JR播但線WT R5年度の主な取組

JR利用促進補助金(3制度)【新】

【概要】

- 事業内容**
- ・特急はまかぜ利用促進補助金
 - ・JR播但線利用促進補助金
 - ・遠距離通勤・通学等補助金

実施主体 神河町 (R5予算: 10,800千円)

実施期間 令和5~7年度予定

【取組状況・今後のスケジュール】

4月1日~

制度	対象者	補助割合等
特急はまかぜ	特急はまかぜを寺前駅で乗降利用する個人、又は団体	個人 3/10: 年6,000円限度 団体 1/2: 年48,000円限度
JR播但線	新野駅・寺前駅・長谷駅からJR播但線を往復利用する65歳以上は1人以上、65歳未満は2人以上の者	普通乗車券購入費用の1/2(月3,000円限度)
遠距離通勤・通学等	・新野駅・寺前駅・長谷駅を基点としてJR播但線を含む鉄道路線で50km以上通勤・通学する定期購入者 ・寺前駅から和田山駅間を利用して通勤・通学する定期購入者	月5,000円 (月額費用が5,000円未満の場合はその額)

駅前カーシェア事業【新】

【概要】

事業内容 二次交通カーシェア車両として電気自動車2台を配備

- ・寺前駅 日産リーフ: 観光協会
- ・長谷駅 日産サクラ: 村営ふれあいマーケット長谷店

実施主体 神河町 (R5予算: 約3,400千円)

実施期間 7月4日~

【取組状況・今後のスケジュール】

日産カーシェア利用契約済。充電設備設置完了



JR播但線WT R5年度の主な取組

特急はまかぜ利用者専用パーク&ライド駐車場【新】

【概要】

事業内容 特急はまかぜを利用する市民の自家用車等の駐車場を事前予約により無料で利用できるサービス（和田山駅：3台分、生野駅：3台分）

実施主体 朝来市（R5予算：416千円）

実施期間 4月1日～

【取組状況・今後のスケジュール】

利用状況（6月30日現在） 和田山駅：49件、生野駅：30件



【2023.5.12 神戸新聞但馬版】

駅周辺駐車場利用料金補助金【新】

【概要】

事業内容 JR西日本の通勤定期券を購入して鉄道を利用し、市内駅周辺の月極駐車場を利用する市民に対する駐車場利用料金の補助（1カ月当たり、上限3,000円）

実施主体 朝来市（R5予算：360千円）

実施期間 4月1日～

【取組状況・今後のスケジュール】

利用状況（6月30日現在） 1件

JR播但線WT R5年度の主な取組

播但線複線電化促進期成同盟会の取組強化【新】

【概要】

事業内容 同盟会が担ってきたハード整備に対する要望等の取組に合わせて、昨年度まで寺前以北で検討してきた利用促進策を含めた内容に改良し、姫路市・福崎町・市川町を同盟会メンバーに加えることで、全線一体となった利用促進推進体制に充実

実施主体 同盟会

実施期間 7月3日～

【取組状況・今後のスケジュール】

◆総会：7月3日

同盟会の中に新たに沿線市町による利用促進部会を設置

同盟会の名称を「日本海と瀬戸内海を結ぶ播但線鉄道整備・利用促進協議会」に変更

プラットフォーム	JRローカル線維持・利用促進検討協議会
実行機関	JR播但線活用協議会（WT） 事務局：但馬県民局 メンバー：※首長・団体会長クラス 【行政】朝来市、神河町、但馬県民局、中播磨県民センター、 【交通事業者】JR西日本、全但バス、ウィング神姫、タクシー協会 【住民団体】朝来市商工会、神河町商工会、朝来市観光協会、神河町観光協会、いくの地域自治協議会、地域団体（播但沿線活性化協議会、長谷地区の振興を考える会）等
協議機関	日本海と瀬戸内海を結ぶ播但線鉄道整備・利用促進協議会 事務局：朝来市 メンバー：朝来市長、姫路市長、豊岡市長、神河町長、舞父市長、福崎町長、市川町長、香美町長、新温泉町長、朝来市議会議員、豊岡市議会議員、舞父市議会議員、姫路市議会議員、福崎町議会議員、神河町議会議員、香美町議会議員、新温泉町議会議員、市川町議会議員、姫路商工会議所会頭、豊岡商工会議所会頭、中播磨地区商工会連絡協議会会長、但馬地域商工会振興協議会会長、北近畿鉄道複線電化促進期成同盟会会長、但馬広域行政事務組合管理者 ※総会：7月、全体会：1月
	日本海と瀬戸内海を結ぶ播但線鉄道整備・利用促進協議会 利用促進部会 事務局：朝来市 メンバー：朝来市、神河町、姫路市、福崎町、市川町、但馬県民局、中播磨県民センター ※必要に応じて、オブザーバーとして、JR西日本の担当者 ※部会：8月、10月（予定） ※R5までの期間限定の部会とする：短期集中的に2000人/日を目標す。

夢但馬周遊バス「たじまわる」の運行【拡】

【概要】

事業内容 JR各駅等と観光地を結ぶ夢但馬周遊バス“たじまわる”の継続運行を軸に、主要観光地の二次交通を確保（プレミアム号ほか6コース）。

特徴 1日乗車券500円、車内ガイド付、土日祝運行

実施主体 但馬観光協議会/運行：全但バス（R5予算：15,278千円）

実施期間 4月～3月

【取組状況・今後のスケジュール】

DC期間中の特別企画と利用促進対策、豊岡演劇祭期間中の平日特別運行

プレミアム号	通年
神鍋うわの高原号	5/20～7/9
鉱石の道号	7/15～9/30
ジオ日本遺産号	9/1～10/31
やぶもみじ号	10/21～11/12
マリンコース	7/15～8/27

JR播但線WT R5年度の取組（その他）

項目	概要	予算	実施主体
長谷駅進入道路舗装修繕工事【新】	長谷駅進入道路の舗装修繕工事（JR用地のため、JRと要調整）	5,000千円	神河町
カラーマンホール設置事業【拡】	当町のゆるキャラであるカーミンをデザインしたカラーマンホールを新野駅・寺前駅前に設置	870千円	神河町
長谷駅利用促進委託事業	『長谷地区の振興を考える会』に長谷駅の利用促進を図るための事業実施を委託	1,200千円	神河町
特急はまかぜ利用促進補助金【拡】	特急はまかぜの利用者に支給	630千円	朝来市
JR播但線団体利用促進補助金【拡】	播但線の普通列車を4名以上の団体で利用した場合に支給	108千円	朝来市
公共交通通勤利用助成金（補助金・奨励金）【拡】	通勤時に鉄道や路線バスを定期利用している者又は企業等に支給	729千円	朝来市
情報発信	ケーブルテレビや市広報誌、SNS等の情報媒体を利用	—	朝来市
意識啓発(醸成)【拡】	公共交通ワークショップ（市内2会場） まちづくりフォーラム（市内11会場）	—	朝来市
利用促進	市民・行政・交通事業者の3者が一体となった利用促進（市職員による利用促進の取組等）	—	朝来市
公共交通アンケート【新】	公共交通に関する現状やニーズ等を把握し、新たな公共交通体系の確立に向けた全世帯を対象	7,000千円	朝来市

JR播但線WT R5年度の取組（その他）

項目	概要	予算	実施主体
ひょうごディスティネーションキャンペーンとの連携イベント①【新】	兵庫ディスティネーションキャンペーンの期間中、JR播但線生野駅や竹田駅においてオリジナルの扇子を贈呈	500千円	朝来市
ひょうごディスティネーションキャンペーンとの連携イベント②【新】	JR和田山駅ホーム内で虎伏陣太鼓の演奏や地元名産品等を提供するWEST EXPRESS銀河のおもてなしイベントを開催	—	朝来市
JRローカル線駅周辺活性化モデル事業補助金【新】	「JRローカル線駅周辺活性化モデル事業」において、駅周辺の賑わい等を生み出す新たな取組みを行う事業者等を対象に、事業費の一部を補助（補助率1/2、上限200千円）	200千円×2	兵庫県 朝来市 神河町
鉄道利用促進但馬キャンペーンの展開【新】	駅と主要観光地のデジタルスタンプラリーの実施及び期間中に但馬をイメージしたキャラクター等のラッピング列車を運行	3,000千円	但馬地域鉄道利便性向上対策協議会
レンタサイクル利用補助事業【拡】	兵庫県但馬・鳥取県東部地域の交通・観光連携協議会等と連携して京阪神からの鉄道利用者の2次アクセスを充実	450千円	但馬地域鉄道利便性向上対策協議会
JR西日本アプリ「WESTER」を活用した沿線情報の集約・発信【新】	沿線でのイベント情報等を、JR西日本アプリ「WESTER」のおでかけ情報に掲載し、誘客を促進	—	JR・自治体